

# 2018 Transforming Undergraduate STEM Education in Japan

Held at Hokkaido University

近い将来、人工知能とロボット技術の発達により現在の職業の半数が消滅すると言われていた今、現在の学生には、よりいっそうの創造性が求められています。こうしたことから、多くの国の大学では、STEM (Science Technology Engineering Mathematics) 教育の改革を行っています。たとえば工学教育では、知識理解優先のスキル教育から、企画力やデザイン思考優先の教育へと変換してきています。これは、斬新な販売手法など一見理系に見えないものも含めて、多くのイノベーションが、理系の技術革新に支えられているからです。こうしたことから STEM 教育に関して様々な試みや海外の教育研究の報告に関する研究会を開催したいと思います。海外の大学教育の主眼の1つが初等理科教育であり、これらは日本の高校とほぼ同レベルですので、高校の先生にも役立つと思います。また、大学院生で海外の教育研究を知っていると、教育を主とした日本の大学への就職に役立つ可能性が高くなりますので、大学院生の参加も歓迎します。

**場所** 北海道大学理学部本館 N-308 号室

**日時** 2018年2月10日(土) 10:00~17:00

## 発表予定タイトル

10:00 「アジアのアクティブラーニング」 齊藤 準 (帯広畜産大学)

11:00 「女子学生の学習経験に関する研究からの STEM 教育への示唆」 保坂雅子 (琉球大学)

13:00 「Discipline Based Education Research」 大森不二雄 (東北大学)

14:00 「STEM 教育改革の国際比較」 吉永契一郎 (金沢大学)

15:00 「日米で大学物理のアクティブラーニングを進めるレッスンスタディ」 土佐幸子 (新潟大学)

16:00 「AAC&U STEM Education Meeting 2017 の報告」 鈴木久男 (北海道大学)

■ 2月5日から12日まで札幌雪祭りが開催されており、単体での航空券は取りにくい状況です。旅行会社のパックをお勧めします。

**主催者** 鈴木久男 (北海道大学), 吉永契一郎 (金沢大学)

齊藤 準 (帯広畜産大学), 瀬戸 治 (北海道大学)

**主催** 北海道大学国際理学連携教育センター

**共催** 大学教育学会

**参加申し込み** | [hsuzuki@particle.sci.hokudai.ac.jp](mailto:hsuzuki@particle.sci.hokudai.ac.jp) (鈴木久男)

《北大の職員および大学院生は参加申し込み不要です》

■会場は北大博物館の3階です。入り口から入ってすぐの階段から3階にお進みください。

